

研究室 からの メッセージ

所在地 〒260-8703
千葉県千葉市中央区仁戸名町 673

スタッフ 渡邊多恵子 (教授)、氏原将奈 (准教授)、
鈴木 茜 (助教)、名村駿佑 (助教)、
川瀬智也 (助手)、渡辺真澄 (助手)、
榎谷哲平 (大学院修士課程 2 年)

URL <https://www.community-em.net/>



奥左から川瀬、氏原、名村、榎谷
手前左から渡辺 (真)、渡辺 (多)、鈴木

淑徳大学看護栄養学部

看護学科地域看護学

History and Now どのような機関なのでしょう？

淑徳大学は、1965 年に社会福祉学部社会福祉学科の単学部・単学科の大学として開学し、2025 年に創立 60 周年を迎えます。創設以来、学部・学科の拡充を重ね、現在では 7 学部 13 学科を有する総合大学へと発展しました。千葉、千葉第二、東京、埼玉の 4 キャンパスで構成されており、看護学科は千葉第二キャンパスに設置されています。

地域看護学領域は「コミュニティ・エンパワメント研究室」として、地域社会の健康と福祉の向上を目指し、保健、医療、福祉などの専門職との連携による実践と研究による科学的根拠の両側面から、コミュニティ・エンパワメントに向けた仕組みづくり、街づくりを探索しています。

Education どのような教育をしていますか？

主に公衆衛生看護学・在宅看護学に関連する科目を担当しています。2 年次前期の「健康生活支援論」では、地区踏査・地区視診を通して地域の特性と人々の健康との関連について理解を深める演習を行い、早期から地域住民への看護・支援の視点を養います。

また、2024 年度は「基礎看護学実習Ⅲ」において、地域看護学を選択した学生とともに、八丈島にて離島実習を行いました。離島の医療や社会資源の現状と、建学の理念である利他共生の精神に

ついて、現地の看護職や地域住民とともに学ぶかけがえのない機会となりました。

Research どのような研究をしていますか？

チームとしては、在宅看護学における関連図作成の効率化を図る関連図アプリを独自に開発し、学修効果を測定する研究を行っています。また、教員それぞれのバックグラウンドや専門性も多様で、コミュニティ・エンパワメントに関すること、保健師のネガティブ・ケイパビリティや GRIT (グリット/やり抜く力) の醸成、自殺対策や児童虐待予防、在日外国人や父親の産後うつへの支援など多岐にわたる研究を行い、現場への還元を目指して奮闘しています。

Collaboration 保健活動の現場とのつながりは？

千葉県内外の自治体への実習や研究でのご縁を大切にし、保健活動へのサポートを行っています。具体的には住民向けのエンパワメント教室や自殺予防ゲートキーパー研修、子ども子育て会議や自殺対策計画策定委員会への参画、市町村健康づくり計画策定・推進のコーディネートをしています。また、自治体と連携し、住民と行政が共につくる心豊かで持続可能な地域コミュニティの構築に向けた活動に取り組んでいます。

ひとこと

子どもからお年寄りまで、みんなが健康で幸せに暮らすことのできる街づくりを探索しています。ぜひ私たちの研究室にいらしてください。個性あふれる愉快的なメンバーとともに、お待ちしております！ (渡邊)

あなたの 研究室を 紹介して ください！

保健師ジャーナルでは、このページに登場してくださる研究室 (保健師教育に関わる講座・分野・領域) を募集中です。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりをご紹介します。

応募方法 電話、FAX、E-mail のいずれかにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。

連絡先 医学書院『保健師ジャーナル』編集室 ☎ 03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 メール hokenshi@igaku-shoin.co.jp